

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験2023の報告

これまでの経緯・背景

2017年策定の街づくりビジョンに位置づけられた「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指し、三鷹駅北口にふさわしいにぎわいを創出するため、2019年から継続的にパブリックスペースを活用した社会実験を実施しています。

実施にあたっては、交通体系の再編を含む将来的な駅周辺の再整備も見据えながら、民間主導の取り組みへの支援や、感染症拡大を受けた新しい生活様式への対応等の観点を踏まえ、地域の方々と連携のうえ企画・調整してきました。

2017年度

三鷹駅北口街づくりビジョン

三鷹駅北口地区の概ね10年後の目標像を描き、3つの視点から街づくりの方向性と考え方、その実現に向けた取り組みを示しています。

2018年度

三鷹駅北口街づくりラボ（三鷹ラボ）

既存の公開空地や道路空間などのパブリックスペースの活用について、講話や視察、ワークショップなどを通して、地域の事業者・住民・企業の方々とともに学びました。

社会実験検討

2019年度～

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した、地域連携によるまちづくり、にぎわい創出の検証を行いました。

2019

交通規制（車両通行止め）を伴う車道のイベントの利用（4日間）

2020・2022・2023

歩道の余裕空間を活用した民間主導の日常の利用（2020年：47日間、2022年：52日間、2023年：68日間）

社会実験の継続 交通体系の検討

社会実験の実施概要

三鷹駅北口周辺を「歩行者を中心とするにぎわいのエリア」とするため、歩道の上にテーブルやイスを設置して、街なかでのちょっとした休憩や、沿道飲食店を利用しやすい環境づくりに取り組みました。



ENJOY! OPEN TERRACES 武蔵野

開催趣旨

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した地域連携によるまちづくり、新しい生活様式に合わせた多世代・日常的な滞在空間創出の検証

協力

駅前酒場易木屋・三協住宅社
三鷹駅北口街づくりラボ・三鷹駅北口商店会・八丁商和会・武蔵野市中央地区商店連合会（順不同）

実施期間

2023年9月15日（金）
～11月21日（火）

実施場所

駅前酒場易木屋前、三協住宅社前の歩道

実施内容

沿道店舗による歩道上へのカフェセット（誰でも利用可能）の設置・管理・運営



実施状況

▲ 位置図



▲ 易木屋前利用状況



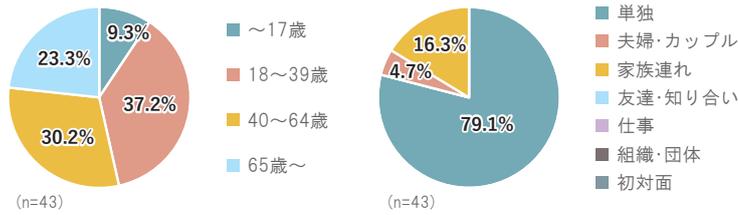
▲ 三協住宅社前利用状況



社会実験の結果

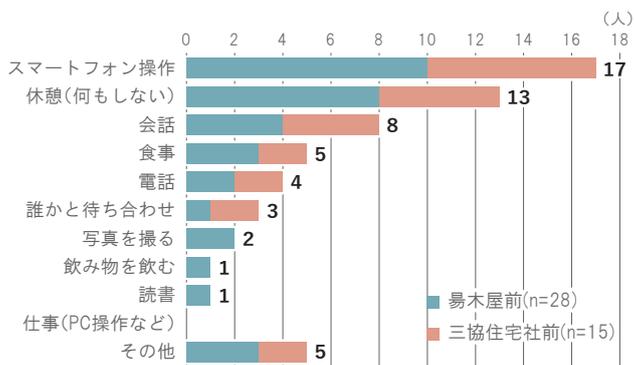
社会実験では、秋の過ごしやすい気候の中、ちょっとした休憩から飲食を伴う滞在まで多様な使われ方が観察されました。実施中は、大きな問題は発生せず、期間を通じて順調に運用されました。

利用状況

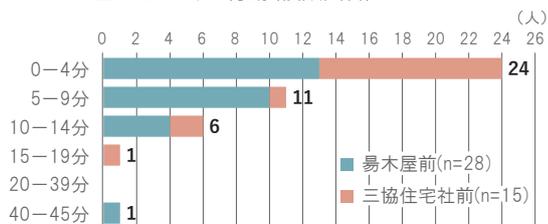


▲ 利用者の年齢(全体)

▲ 想定される関係性(全体)



▲ テラスでの行動(複数回答)

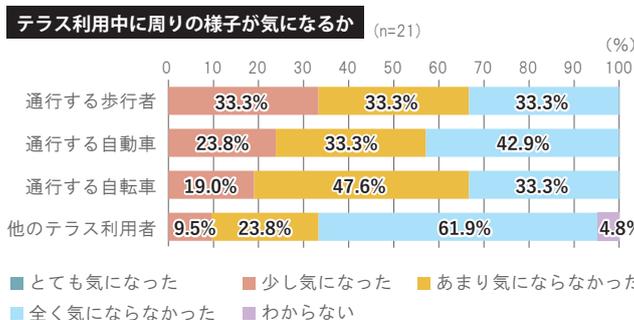
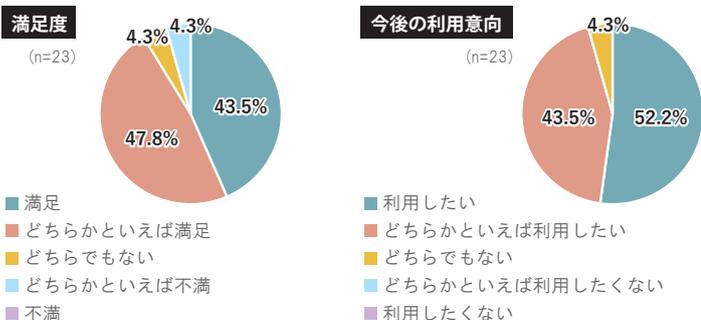


▲ 利用時間別人数(全体)

○調査日 令和5年10月12日(水)
 易木屋前 : 12:00~16:00(席数14+ベンチ)
 三協住宅社前: 9:15~18:00(席数4)

設置したカフェセットと近くのベンチの利用者は、易木屋前28人、三協住宅社前15人でした。お昼ごろ(12~13時台)の利用人数は昨年度の実施とほぼ同様でした。利用者の年齢は幅広く、約8割が単独利用であり、利用時間は5分未満が最も多い結果となりました。また、利用者の行動はスマートフォン操作、休憩、食事、待ち合わせなどの多様な行動が見られました。

アンケート結果



アンケート回答者の内、9割以上が満足・今後も利用したいと回答しました。また、利用者の多くはテラス利用中に周りの様子は気にならなかったと回答している一方で、約2~3割の回答者は歩行者・自動車が気になったという結果となりました。

利用者の声

- ・天気の良い日に、家族と楽しく食事ができています!
- ・ベンチ代わりにくつろげる場所が増えるのは良い。
- ・外で飲食できて気持ちがいい。
- ・ほどよい広さで過ごしやすかった。
- ・テラスの設置場所が狭く、限定的で残念。
- ・バスの通行音大きいことなどが気になった。

参加店舗の声

- ・店内に入りづらい方(ペット連れ、車いす、小さい子供連れの方など)にとっては使いやすくて良いと思う。
- ・場所をとらないおしゃれなベンチなどが連続してあると良い。
- ・お店専用の席と勘違いして、利用しない人もいるように感じた。
- ・街のにぎわいのため参加したが、チラシや現地の表示物に店舗名が載り、結果的に会社としてよいPRになった。

今後の事業実施に向けて

三鷹ラボの成果や社会実験の結果を踏まえ、今後市では、地域の企業や団体によるパブリックスペースを活用した事業展開をサポートするとともに、持続可能な仕組みづくりや新たな利活用の可能性等を検討していきます。

引き続き、目指すべき街の姿の実現に向けて、街に関わるあらゆる方々との一層の連携を図り取り組んでまいります。

